

上郡中学校 校長室だより

上郡中学校ホームページにもアップします。是非ご覧ください。

2021年5月25日

No. 2

上郡町立上郡中学校
校長 溝端 義和

ICT活用教育進み始める

○1人1台の端末（Chromebook）配布

文部科学省が打ち出した「GIGAスクール構想」（義務教育を受ける児童生徒のために1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画）を受け、本校も3月末に高速ネットワークに対応できるよう校内LUNシステムが整備され、4月末には1人1台の端末が生徒に配布され各自で設定を行いました。その後、教育委員会と数度の設定確認を行い、授業で使用できるようになりました。教科の授業や総合学習、HR等で効果的に活用していきたいと考えています。国語のみ全学年電子教科書が導入されています。また、使用場所は当面校内のみとさせていただきます。



○普通教室に電子黒板（超短焦点壁掛け対応プロジェクター）設置



1人1台の端末導入に合わせ、普通教室の黒板上にプロジェクターが設置され、電子黒板が使用できるようになりました。早速、各教科の授業で活用されています。これまで使用していた大型テレビに映すよりも画質が綺麗でかつ少し大きくなり見やすくなっています。また、映し出された画面に線を引いたり、文字を書いたりすることもできます。これらのICTを効果的に活用しながら生徒にしっかり力がつけられるよう指導していきます。

学校生活の様子

○学習活動

コロナ禍で制限がある中での学校生活ですが、子どもたちは元気に活動しています。授業にも意欲的に取り組んでいます。1年生の授業規律もしっかり出来てきました。

今年度は、改訂された学習指導要領完全実施初年度になります。新学習指導要領が示す学びの改革「主体的・対話的で深い学び」を進めるためにも、感染防止をしっかりした上で話し合い活動を多く取り入れていきます。

○生徒会活動

各委員会が目標を決め生徒玄関に掲示するなどして、目標達成に向けて意欲的に取り組んでいます。朝、正門に立って挨拶運動も頑張っています。毎週月曜日の全校朝礼は放送で行っていますが、生徒会役員が主体となって全校生徒をリードし、学校を明るく元気にかけてくれています。

○清掃活動

清掃活動にも大変熱心に取り組んでいます。黙々とぞうきん掛けをしている姿や隅々までホウキで掃いている姿を見ると、とても爽やかな気持ちになり心が癒やされます。



今後の教育活動の変更

○修学旅行延期

県内の新規感染者は減少傾向にあるものの依然医療体制が逼迫していること、感染が全国に広がり緊急事態宣言期間が延長される可能性が高くなったことから、上郡町教育委員会及び上郡町新型コロナウイルス感染症対策本部の指示により修学旅行が延期されることになりました。子どもたちが楽しみにして準備を進めていただけに大変残念ですが、いろいろな状況を鑑みて仕方ないと思います。キャンセル料については、上郡町から支払われることになっています。延期する旅行は、秋に四国方面か九州方面への旅行を計画していきます。

○水泳授業中止

上記と同様の理由により、水泳授業の中止が決定されました。ネットをはさんで行う球技、保健授業等、感染リスクが低い他の内容に振り替えます。

○参観授業中止

6月15日(火)に予定していた参観日は中止とさせていただきます。学校の様子を見に行きたいと思っておられる方は担任に申し出て下さい。今後の感染状況を見ながらですが、緊急事態宣言が解除されてから来校していただける期間を設けられたらと考えています。

親の無償の愛を

これまで誰も経験したことがないコロナ禍が長く続く中で、大人も子どもも精神的に疲弊しています。それぞれ、目的を見つけ、前向きに生活しようとしてはいるものの、コロナ禍以前と比べると心の安定を図るのは難しくなっています。学校では、子どもたちが笑顔で過ごせるよう、やりがいを持っていろいろなことに取り組めるよう、できる限りのことをしたいと考えていますが、感染を拡大させないためには我慢を強いらなければならないこともあります。

お子さんの心の状態が気になるご家庭もあるのではないのでしょうか。こんなときこそ、学校と家庭がしっかり連携して子どもたちを見ていく必要があります。

学校では、生徒一人一人の表情や話し方をしっかり見ていきます。私も正門に立ち、登校してくる生徒と挨拶を交わしながら、時に声を掛けながら表情を見ています。週に1回、生徒支援部会という会を持ち、各教員が把握している生徒の情報交換をし、特に気になる生徒については対応方法を協議しています。スクールカウンセラーの先生にお願いすることもあります。また、教育活動においては、感染防止をしっかりとした上で子どもたちの話し合い活動をできるだけ取り入れ、お互いを理解し合い、しっかりと人間関係が作れるようにしていきます。

家庭においても、「おはよう」「行ってきます。行ってらっしゃい」「ただいま。おかえり」「いただきます。ごちそうさまでした」「おやすみなさい」等の挨拶をしっかりとしたり、学校での話を聞いて共感したり一緒に笑ったりしながら、お子さんの様子をよく見ていただけたらと思います。心配なときは落ち着いて話を聞いてやってください。このとき、親の考えを伝えるのは最後でいいと思って聞くことが大切です。子どもたちはまだまだ大人になりきれていません。親の無償の愛が子どもを救います。道を外れそうになっていたり、ばかなことを考えていたりしたら本気で叱って下さい。感情が先走るかも知れませんが、そんなときは最後に思いっきり抱きしめてやってください。親が子どもを思う気持ちを本気でぶつけてください。そうすれば、言葉以上に伝わるものがあると思います。

長らくコロナ禍でみんな大変ですが、人間的なふれあいを大切にしながら乗り越えていきましょう。

